

▶▶▶ 高森町

【熊本地震創造的復興】 南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発と 熊本都市圏へのアクセス強化プロジェクト



くまもとアートポリスプロジェクト設計デザイン

分類 災害支援

〈SDGs〉関連するゴール



概算総事業費

約660,000千円(高森駅周辺再開発のみ)
寄附目標額 300,000千円

計画期間

2021年4月1日～2024年3月31日

数値目標

- 高森町の観光施設等を訪れた「日帰り観光客数」……1,000,000人
- 南阿蘇鉄道利用者(輸送人員)数……100,953人
- 観光客に占める公共交通利用者の割合……3%以上
- 駅を利用したイベント等の住民活動の開催……年間12回以上

新高森駅建設とJRへの直接乗入

2016年(平成28年)4月に熊本地震が発生しました。特に、当町が位置する阿蘇地域の被害は甚大で、都市とつながる交通インフラに壊滅的な被害が生じ、交通インフラの中で未だ復旧を果たせていないのが地域唯一の鉄道公共交通機関であるローカル鉄道の南阿蘇鉄道の被害です。

南阿蘇鉄道は、震災前には、年間約26万人の移動を支え、通勤、通学、高齢者の通院の普段利用ばかりでなく、トロッコ観光列車が特に人気で、地域の観光経済を支えるツールとして、全国のファンより親しまれています。

しかし、熊本地震により甚大な鉄道被害が生じ、JR豊肥本線との接続は完全に途切れ、地震から5年が過ぎてもなお、部分運行を強いられており、2023年度中の災害復旧工事完了と運行開始を目指しています。

そのような中、高森町では熊本県及び沿線自治体、沿線住民と共同し、鉄道の起終点の駅「高森駅」の再開発と南阿蘇鉄道がJR豊肥本線に直接乗り入れ(接続強化)し、熊本都市圏へのアクセス性能を向上し、移住定住の促進や高齢者の免許返納対策の実現といった熊本地震からの「創造的復興」を進めています。



ここがポイント

南阿蘇鉄道の始発終点の駅であり本社機能を有する高森駅を、町の「観光」の玄関口として観光面で再整備するとともに、「移住」対策や、熊本地震の経験を教訓とした「防災」拠点の機能も併設させる施設整備プロジェクトとしています。



南阿蘇鉄道の復興を応援するフランキー(ワンピース)